

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	7	学校名	宇都宮市立今泉小学校
-----	-----------------	------	---	-----	------------

令和5年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな人間性をもち、主体的に判断・行動し、自らの向上と社会の発展を目指してたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 明るく思いやりのある子(思いやり) ○自ら考え進んで学ぶ子(創造力)
- 元気でやりぬく子(体力・気力)

2 学校経営の理念

「明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小」を目指し、家庭・地域の信頼と協力のもと、誰もが夢や希望を抱き、喜びとやりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸長できる、児童・家庭・地域とともに歩む学校を創造する。

3 学校経営の方針

- 自ら進んで考え、楽しく学び合う人づくり
- 当たり前のことが自然にできる人づくり
- 自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり
- 愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくり
- 9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくり
- 教職員がやりがいをもち生き生きと勤務できる学校づくり

【泉が丘地域学校園教育ビジョン】

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成
～ 学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉 ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 教育関係諸法令や学習指導要領、とちぎ教育ビジョン2025、第2次宇都宮市学校教育推進計画、学校教育スタンダード、令和5年度指導の重点、泉が丘地域学校園教育ビジョンを踏まえ、教科横断的な視点を意識しながら編成する。
- (2) 児童がもつ個々の力を伸ばすことを目指し、教育目標、本年度の学校経営方針、重点目標の具現化を図ることができるよう編成する。
- (3) 本校の歴史と伝統を大切に、児童の実態や本校の特色、地域の教育力を生かした特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

- 「地域はみんなの学校」を目指し、地域学校園、地域内小中学校、保護者、地域、企業等と

の連携・協力体制を構築し、地域の教育力を生かした教育活動による人づくりに努める。

- ・ 様々な「ふれあい」と「学び合い」により、たくさんの「よろこび」を味わうことで自己肯定感を高め、個々の力を伸ばせる学校づくりに努める。
- ・ 児童と向き合う時間と質の高い教育を確保するため、校務の適正化と効率化を推進する。

(2) 学習指導

- ・ 児童一人一人が学びを実感し、主体的に学びに向かう授業実践
- ・ 個別最適化の視点を踏まえた支援の充実

(3) 児童生徒指導

- ・ 基本的生活習慣の育成と規範意識の醸成
- ・ 望ましい人間関係作りと個に応じた不登校及び問題行動対策
- ・ 安全指導の強化
- ・ 家庭・地域・関係機関等との連携

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・ 望ましい食習慣の育成
- ・ 基本的な健康習慣の定着と体力向上
- ・ 安全に関する意識の向上
- ・ 家庭・地域との連携協力

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

【本校の合言葉】やさしく かしく たくましく

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

「ふれあいとよろこび 学び合いの教育」の推進

① にこにこ活動（豊かな心）～やさしく～

- ・ 縦割り班活動の実施 ◇体験活動の積極的導入
- ・ 道徳教育や人権教育の充実 ◇幼・保・中・高校，高齢者，地域の人との交流

② ぐんぐん活動（確かな学力）～かしこく～

- ◇明確なねらいと学び合いのある授業実践 ・自らの学びを振り返り実感する場の工夫
- ◇夏休み「ぐんぐん教室」の充実 ・主体的な学びの推進

③ キラキラ活動（健やかな体）～たくましく～

- ・ 新体力テストやミニマムを活用した体育授業の充実
- ◇休み時間の積極的な運動遊びの奨励 ◇家庭との連携による食育の推進

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

① 基本的考え

9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくりの実現に向けて、家庭や地域の信頼と協力のもと、誰もが夢や希望を抱き、喜びややりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸ばせる、児童，家庭，地域と共に歩む学校づくりを目指す。

②主な取組

- ・授業ボランティアや図書ボランティア等，地域協議会を通じた授業支援
- ・地域人材を活用した発展的体験学習の機会(ぐんぐん教室)の充実
- ・学校ホームページや各種たより等による学校情報の積極的発信

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

泉が丘地域学校園が目指す「学び・共に行動し・鍛える」教育実践に取り組むことにより3校共通の重点である「児童生徒の人間関係構築力」の育成を図り，相互に関わり合いながら，「共に学ぶこと」「共に行動すること」「共に生きること」について考えられるよう，各校における教育課程実践の充実・深化を図る。

② 主な取組

- ・学力の向上に関する情報の共有化
- ・児童生徒指導強化連絡会及び不登校対策協議会の充実
- ・乗り入れ授業の推進（中学校から小学校への実施）
- ・小中交流のボランティア活動の実践（駅東公園美化活動）
- ・事務職員分科会による会計処理の充実，及び共同事務の構築

(3) 不登校対策

①基本的考え

人とのつながりを第一とし，全児童への「目配り・気配り・声掛け等，未然防止の取組」，不登校の兆候が見られる児童への「初期対応（早期発見，早期対応）の取組」，不登校(傾向)児童への「組織的な対応，多様な支援等の取組」を推進する。

②主な取組

- ・年間4回「友だちアンケート」の実施による児童のSOS早期発見
- ・Q-U検査活用による学級の実態把握と居心地のよい学級づくり
- ・報告・連絡・相談を徹底した情報共有とチーム支援体制の構築
- ・生活指導，特別支援，問題行動への対応に関する職員研修の実施

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

全ての児童・教師が個人用パソコンを文具の一つとして，授業の内外で日常的に活用することにより，多様な児童の誰一人取り残すことのない，公正に個別最適化された学びを教育活動の中で持続的に実現できるよう努める。

②主な取組

- ・辞書・図鑑と同様の検索サイトの活用（情報活用能力の育成）
- ・教科書等のQRコードからデジタルコンテンツの活用（教材準備）
- ・アプリ等の活用による共同編集やプレゼンテーション（課題解決力の育成）
- ・児童相互の意見交換及び意見の集約・整理（コミュニケーション能力の育成）
- ・A I型ドリル及び映像教材の活用並びに自作資料の活用（校務の効率化）
- ・児童の成果物の共有

(5) 宇都宮学

①基本的考え

郷土の歴史や伝統文化・産業等の特色や魅力に関する知識を身に付けるとともに、郷土のよさを理解することができるよう、自分たちの住む地域の魅力や課題を見いだせるようにする。教科横断的な学習活動を通して課題に対して「自分事」として取り組むことにより、郷土への愛情や誇りをもち、よりよく未来を切り開いていこうとする実践的態度の育成に努める。

②主な取組

- ・社会科副読本の活用（小学校3年・4年）
- ・宇都宮学施設めぐりの実施（小学校4年：環境学習センター・大谷資料館等）
- ・宇都宮学副読本（小学校版）の活用
 - 「宇都宮の自然と交通：5年」
 - ・宇都宮の場所と地名
 - ・宇都宮の自然環境
 - ・宇都宮の生きもの等
 - 「宇都宮の伝統文化：6年」
 - ・百人一首の魅力
 - ・宇都宮の伝統工芸
 - ・宇都宮の郷土料理等
- ・他教科等との関連を図った教科横断的な学習活動の推進